



パーヴェル・ネルセンアン



ピアノリサイタル 札幌公演

ほとばしる情熱！ピアノイズムの神髄！！

J. S. バッハ イギリス組曲第6番 BWV811

ショパン バラード第3番 作品 47

ラヴェル ラ・ヴァルス（2台ピアノ版、共演 中添由美子）

レスピーギ ピアノのための6つの小品

ラフマニノフ 楽興の時 作品 16



共演 中添由美子



2025.11.28 金

18時30分開演
(18時00分開場)



札幌コンサートホール

Kitara

小ホール



一般 4,000円 会員 3,500円
高校生以下 2,500円

■ お問い合わせ・チケット

日本ユーラシア協会札幌支部 Tel: 070-8595-0936

■ マネジメント

平和ステージ・オフィス Tel: 011-665-0675

■ チケット取扱

Kitara チケットセンター Tel 011-520-1234
道新プレイガイド・札幌市民交流プラザ Tel 0570-00-3871

▶▶ チケットご案内 web サイト



主催：日本ユーラシア協会札幌支部 共催：日本ユーラシア協会北海道連合会 後援：札幌市、札幌市教育委員会、北海道、北海道教育委員会、北海道新聞社、札幌国際プラザ、札幌姉妹都市協会、日本ユーラシア協会苫小牧支部、日本ユーラシア協会石狩支部、北海道国際音楽交流協会 (HIMES)、札幌音楽家協議会、河合楽器製作所北海道支店

PROFILE

パーヴェル・ネルセシアン

ロシア功労芸術家。1964 年生まれ。1982 年モスクワ音楽院入学。在学中の1985 年にベートーヴェン国際コンクール 2 位受賞。1989 年モスクワ音楽院を主席で卒業。1991 年ダブリン国際ピアノコンクール優勝。多彩なレパートリーを持ち、作曲家の意図を説得力ある表現で描くことのできる優れた演奏家である。現在、ロシアやヨーロッパ各地はもとより、南北アメリカ、アジア各国と演奏活動は広範囲に及ぶ。2011 年には日本ユーラシア協会企画による東日本大震災チャリティーピアノリサイタルを実施。

2016 年モスクワ音楽院 150 周年記念コンサートではソロリサイタルも開催。

2017 年日本ユーラシア協会創立 60 周年記念コンサートを開催。

2025 年には弟子のひとりであるアレクサンドル・クリュチコが仙台音楽コンクールピアノ部門で 2 位。2003 年から継続してカワイ、ピアノマスタークラス（旧ロシアン・ピアノスクール）講師を務めている。

現在、モスクワ音楽院教授、ボストン大学教授。

ホームページ <https://pavelnersession.com/>



中添由美子

札幌市出身。国立音楽大学を経て、同大学院を首席で修了。クロイツァー記念賞受賞。札幌、東京を中心に数多くのリサイタルを開催する他、故・ウェルナー・ヒンク氏（元ウィーンフィルコンサートマスター）とのデュオリサイタルなどの室内楽でも活躍。

2003 年、リサイタル「ラフマニノフの世界」で札幌市民芸術祭奨励賞受賞。

これまでに林千穂、故・安芸彊子、故・福森湘、外山準、江藤玲子の各氏に師事。

故・アンリエット・ピュイグ＝ロジェ、ダン・タイ・ソン、アレクサンダー・セメツキーの各氏にもレッスンを受ける。

2012 年よりパーヴェル・ネルセシアン氏に師事。

ネルセシアン氏との 2 台ピアノ共演は 2014 年に続いて 2 度目。

ホームページ <https://yumiko-nakazoe.com/>



ネルセシアン氏のリサイタルによせて

このたび、2017 年以来 8 年ぶりにネルセシアン氏のコンサートツアー（瑞穂市・岐阜市・帯広市・札幌市）が開催されることを大変喜ばしく思っています。私がネルセシアン氏のレッスンを受けるようになって早くも 13 年の歳月が流れました。

レッスンを受けていて、いつも氏の音楽に対する真摯な姿勢、そしてゆるぎないものを感じます。同じ時代に生きてレッスンを受けて勉強できることにこの上ない幸せを感じています。

レッスンを受け始めて 3 年目、私は右手薬指の靭帯を負傷して、演奏を休むことを余儀なくされました。一時は日常生活にも不自由するほどでとてもピアノどころではなく、この年のレッスンはとても受けられないと思いメールで連絡すると、すぐに返信が届きました。

「左手の曲を勉強しなさい。出口はそれ一つしかない」

結局、氏の圧巻の演奏が YouTube に上がっているラヴェルの「左手のための協奏曲」を選んでレッスンに持って行きました。そして自分の左手がいかにも不器用でないがしろにされていたかを思い知ることになったのです。

今回のプログラムは、ネルセシアン氏が今年ぜひ演奏したいと語っていたバッハ（岐阜、帯広、札幌公演）をはじめ、シューマン（瑞穂公演）、ショパン、ラヴェル、レスピーギ、ラフマニノフとさまざまな時代の作品から成り立っています。広大なレパートリーを持つネルセシアン氏ならではのいろいろな時代の作品を楽しめるプログラムです。帯広、札幌公演では私も 2 台ピアノでお手伝いさせていただきます。皆様、ぜひお近くの会場に足をお運び下さい。

中添由美子（ピアニスト）